OMEGA

Speedmaster

X-33 REGATTA

OPERATING INSTRUCTIONS

目次

はじめに 2
推奨事項 2
環境保護 3
OMEGA国際保証 4
仕様 表示 6
操作方法 一般事項 8
UTC 表示 10
タイムゾーン T1 および T2 表示 12
アラーム 表示 14
CTD 表示 16
RAC 操作方法 19
LGB 表示 20
カウントダウン 表示 24
クロノグラフ 26
ソヌリ 27
特殊機能 28
例 レガッタ レース 30
略語の説明 32
トラブルシューティング 32
絵文字 33

はじめに

推奨事項

オメガ時計を永く使用するための注意事項は？

磁気：磁石、スピーカー、冷蔵庫、iPadケース、その他タブレットなどの近くに腕時計を置かないで下さい。これらの機器から発される強い磁気が、時計の歩度に悪影響を与える可能性があります。

海水：時計を海中で使用した後は、必ず軟水で洗い流して下さい。

衝撃：物理的衝撃や急激な温度変化はお避け下さい。

リュウズ：時計内部に水が浸入するのを避けるために、必ずリュウズを通常の位置にセットして下さい。

クリーニング：金属製のブレスレット、ラバー·ストラップ、防水ケースは、石鹸水を付けた歯ブラシでクリーニングし、柔らかな布で拭いて下さい。

各種化学製品：溶剤、洗剤、香水、化粧品、殺虫剤などがかかったり、直接接触するのを避けて下さい。ブレスレットやケース、パッキンを損傷する恐れがあります。

温度：極端な温度(60℃以上、0℃以下)や、極端な温度変化にさらさないで下さい。

防水性：時計の防水性は永久に保証されるものではありません。防水性の保持状態は、特にパッキンの経時変化やリュウズに誤って与えられた衝撃によって変わります。サービス規定にあるように、時計の防水性を一年に一度オメガの正規サービスセンターで検査することをお勧めします。

プッシュボタン：内部メカニズムへの浸水を避けるため、水中ではプッシュボタンを操作しないでください。

メンテナンス間隔はどの位が適正でしょうか？

全ての精密機器同様、時計が完璧に作動するには定期的なメンテナンスが必要です。製品や気候、お客様のご使用状況やお手入れ状態によって差がありますが、原則として、4年ないし5年毎に時計をメンテナンスに出すことをお勧めします。

メンテナンス･サービスやバッテリーの交換はどこに連絡すれば良いでしょうか？

万一お客様の時計に問題が生じた場合は、正規オメガ特約店またはオメガ指定サービスセンターにご相談いただければ、オメガ社の基準に従ったサービスメンテナンスを承ります。

動作に損害を与える可能性のある漏洩リスクを回避するため、消耗した電池もすぐに交換する必要があります。電池の種類は、お買い上げいただきました時計に付属している保証書に記載されています。

日本語

環境保護

寿命がきたクォーツ時計の回収と取り扱いについて*　この記号は本製品を家庭用廃棄物と共に処分してはいけないことを表示しています。本製品は、各地域の認定回収システムに返還される必要があります。この手続きを守ることにより、あなたは、環境及び人々の健康の保護に貢献することになります。物のリサイクルは、自然資源の保全に役立ちます。

* EU加盟国及びこれに対応する法律がある国に適用されます。

OMEGA国際保証

はじめに

OMEGA®時計については、お買い上げの日から24ヶ月間、本保証書に規定する条件により、OMEGA SA*が保証いたします。この国際保証OMEGA®は、お買い上げになったOMEGA®時計がお客様に引き渡された当時すでに存在していた材料上及び製造上の欠陥(以下単に「欠陥」という場合はかかる意味での欠陥をいいます)を対象とします。この保証書は、OMEGA®の正規販売店が、本保証書に、日付その他の事項を漏れることなく正確に記入したうえ捺印をした場合に、はじめて有効となります(以下かかる条件を満たした保証書を「有効な保証書」といいます)。

お客様は、保証期間中は有効な保証書を提示することにより、全ての欠陥について無料で修理を受けることができます。お客様のOMEGA®時計を正常に使用できる状態に修理するのが不可能な場合は、OMEGA SA*が、同一ないし同種のOMEGA®時計との交換を保証いたします。交換後の時計に対する保証は、交換前の時計のお買い上げ日から24ヶ月間とします。

上記の製造者保証は、

- - 販売店が行う保証とは別個独立の保証であり、販売店の保証については、販売店が一切の責任を負うことになっています。
- - 販売店に対するお買い上げ主としての権利またはその他お買い上げ主が販売店に対して有するあらゆる法律上の権利に影響を及ぼすものではありません。

お客様のOMEGA®時計のメンテナンスにつきましては、OMEGA®カスタマーサービスが完璧に行います。万が一お客様の時計に問題が生じた場合は、OMEGA®の正規販売店またはOMEGA®指定のサービスセンターにご相談いただければ、OMEGA SA*の基準にしたがったサービスをお約束いたします。

製造者の保証は以下の場合には適用されません。

- - バッテリーの寿命
- - 通常使用による摩耗や老朽化(例、クリスタル部分の擦過傷、皮革、テキスタイル、ラバーなどの非金属性ストラップ及びチェーンの変色·変質。)
- - 異常な使用、乱用、不注意、過失、事故(打撃、陥没、衝突、ガラス破損等)、間違った使い方、OMEGA SA*が指示した使用方法を守らなかったことに起因する時計損傷
- - OMEGA®時計の使用、機能不全、欠陥、不正確性などから派生するあらゆる間接的·派生的損害
- - OMEGA®時計のバッテリー交換、アフターサービス、修理等について権限を与えられていない者に行わせた場合またはOMEGA SA*の管理が及ばないところで時計の元の状態に変更を加えている場合

OMEGA SA*に対するその他の請求、例えば上記の保証に加えて損害賠償等の請求をされましても、お買い上げ主が製造者に対して法律上の権利を有している場合を除いて、それらの請求は保証の対象外となります。

日本語

* OMEGA SA

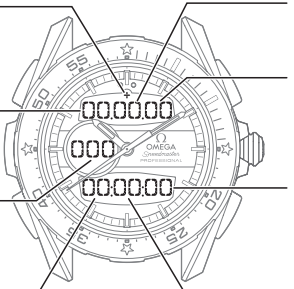
Rue Stämpfli 96, CH-2500 Bienne 4

OMEGA® 及び Ω OMEGA® は登録商標です。

仕様 表示

本取扱説明書には SPEEDMASTER X-33 Regatta（スピードマスター X-33 レガッタ）の現行の操作方法が記載されています。詳細については、ホームページをご覧ください。

一般的な時計の機能に加え、SPEEDMASTER X-33 Regatta にはレガッタ レースに役立つ特殊機能（カウントダウンおよびログブック機能）が備わっています。



+/- 表示
- : 未来のイベント
+ : 過去のイベント

曜日表示

機能の表示
10 ページの 26 を参照

時間表示

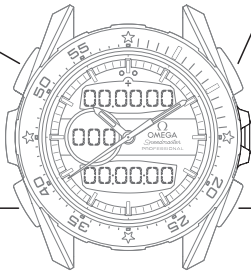
月表示

年表示
またはクロノグラフ機能の 1/100 秒表示

秒表示

分表示

仕様 プッシュボタンとリューズ



カウントダウン / レース機能
カウントダウン表示
スタート、同期、
ブイの保存、
ストップ、初期数値へのリセット、
次のログブックへのアクセス

表示
バックライト
針の移動
ソヌリの停止

プログラミング
プログラミングのアクセス / 終了

クロノグラフ / カウントダウン機能
スタート / ストップ

ログブック機能
次のブイのメモリへの移行

プログラミング
設定数値の増加

表示およびプログラミング
枠内の記載を参照

クロノグラフ / カウントダウン機能
ゼロへのリセット、スプリット、初期数値へのリセット

ログブック機能
前のブイのメモリへの移行

プログラミング
設定数値の減少

日本語

一般事項	リューズの操作方法
1 回押す	**表示** 次の機能にアクセス **プログラミング** 次の設定にアクセス
2 回押す	**表示** 選択された機能の第 2 ページにアクセス
長く押す （約 3 秒）	**表示** 機能のグループにアクセス
	プログラミング 省電力モードの作動（28 ページを参照）

操作方法 一般事項

グループおよびページでのナビゲーション

機能は 2 つのグループに分かれています (次ページの図を参照) 。

リューズを 1 回押すと次の機能が表示されます。

リューズを長く押すと機能の第 2 グループが表示されます。

特定の機能が 2 つのページに表示されます。リューズを 2 回押すと使用可能な 2 ページが表示されます (次ページの図 (1/2) を参照) 。

10 秒後またはリューズを 1 回押すと 1 ページに戻ります。

プログラミング モード

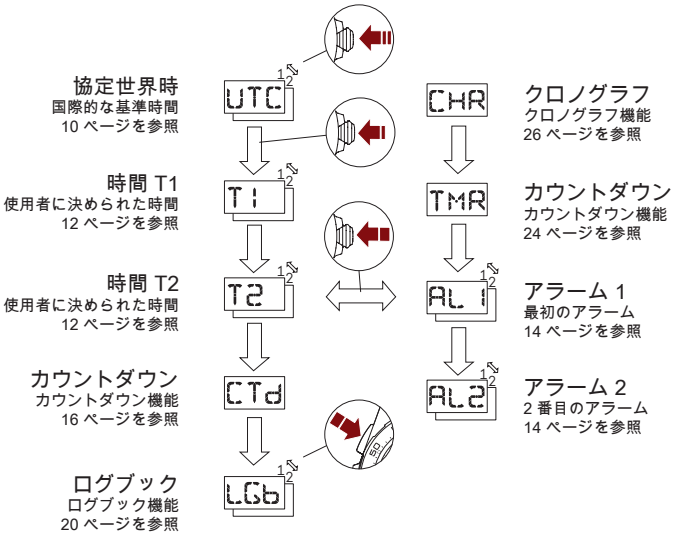
プログラミング モードでは、針は表示が読み取りやすくなるように移動します。

20 秒間操作しないとプログラミング モードは自動的に終了します。

ソヌリが鳴ると、表示が点滅し、関連機能が表示されます。

選択可能な機能では、000 の選択が使用されると機能は作動解除され、プログラミングは消去されます。

操作方法 機能のナビゲーション

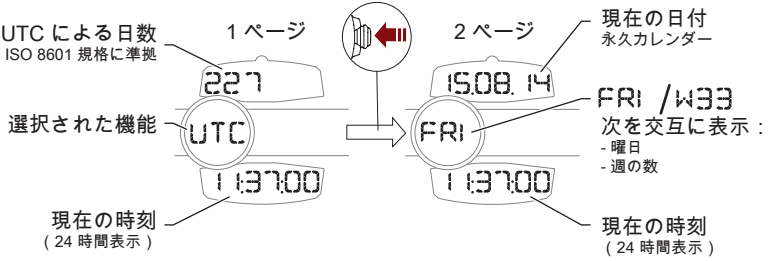


日本語

UTC 表示

世界時間の表示 (協定世界時) 。

この時間は以前、GMT と呼ばれていたものですが、特定の地域ではまだその呼称で使用されています。



T1 および T2 機能 (12 ページを参照) は UTC に関連した設定となっています。

UTC プログラミング

UTC 機能の選択

プログラミングへのアクセス

増加 +

確定して次の設定へ進む(1)

減少 -

(1) 同様に次の設定を実施する：

- 年、月、曜日
- 時、分、秒

プログラミングの終了

UTC は時計のすべての機能の基準時間となるので、まずはじめにプログラミングする必要があります。

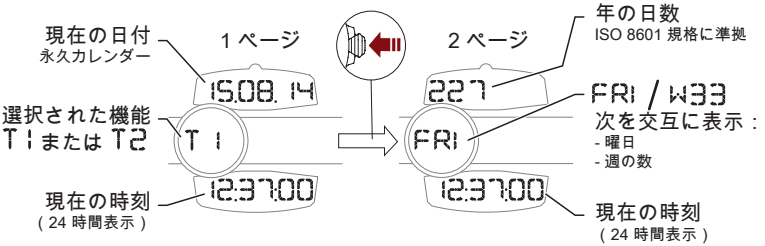
日本語

タイムゾーン T1 および T2 表示

T1 はローカルタイム用に使用されます。針は常に T1 の時刻を表示します。

T2 はセカンドタイムゾーン用に使用されます。T2 の時刻は針では表示されません。

i T1 および T2 を設定するには、UTC との時差をプログラミングする必要があります。ゆえに UTC の時間は T1 および T2 をプログラミングする前に設定しておかなければなりません。



タイムゾーン T1 および T2 プログラミング

T1 または T2 機能の選択

プログラミングにより希望の時間と UTC の間の時差を決定します。

プログラミングへのアクセス

プログラミング時、"+" または "–" のマークが表示上部に現れ、時差が UTC に対してプラスかマイナスかを示します。

増加 + (2)

確定して次の設定へ進む(1)

増加 - (2)

(1) 同様に次の設定を実施する：

- 時、分

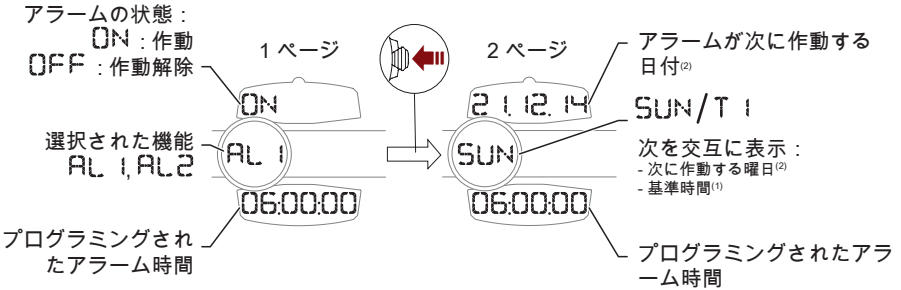
(2) 時間は 1 時間単位で、分は 15 分単位でプログラミングすることができます。

プログラミングの終了

日本語

アラーム 表示

次の 2 つのアラームが使用できます：AL. 1 および AL.2。すべてのアラームは同じ方法で機能します。



(1) 基準時間は T1、T2 または UTC から選択できます。

(2) アラームは可能な限り設定通りに鳴ります。たとえば、日付や曜日を考慮せず、アラーム時間だけを設定した場合、アラームは毎日、決められた時間に鳴ります。

27 ページのソヌリについての記載を参照してください。

アラーム プログラミング

機能の選択
AL 1または AL2

プログラミングへの
アクセス

増加 +

確定して次の設定へ
進む(1)

減少 -

プログラミングの
終了

アラームの作動

機能の選択
AL 1または AL2

アラームの作動 / 作動
解除

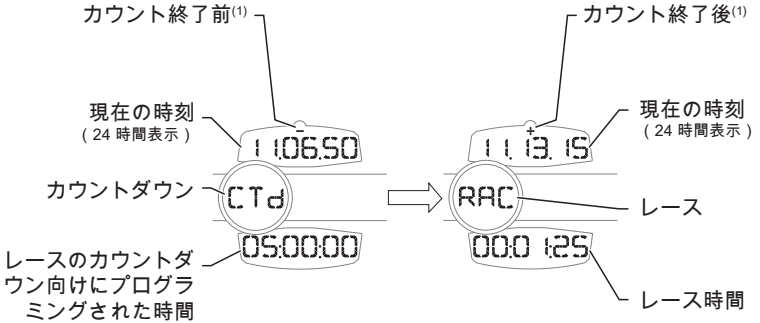
(1) 同様に次の設定を実施する：
- 基準時間 T1、T2、UTC、
- 年、月、曜日
- 時、分、秒
- 曜日

日本語

CTD 表示

「カウントダウン」

この機能では、最初はレース開始前の残り時間（ CTd ）が表示され、ついで自動的にレース時間（ RAC ）に切り替わります（30 ページの例を参照）。



(1) レース開始時刻が過ぎると、表示上部のマークが "+" になり、レース開始時刻からの時間が計測され続けます。

27 ページのソヌリについての記載を参照してください。

CTD プログラミング

CTd 機能の選択

プログラミングは、カウントダウンをストップした場合のみ、利用できます。

プログラミングへのアクセス

CTd 機能は、レース開始の 59 分前までプログラミング可能です。

増加 +

減少 -

この機能では、最後のプログラミングが自動的に記録されます (この機能はリセットできません) 。

プログラミングの終了

日本語

CTD 操作方法

カウントダウンのスタート

最も近い分で公式時刻と同期 (1)

(1) 30 秒以上経過していた場合は、次の分で時刻が同期し、そうでない場合は現在の分のまま同期します。いずれの場合も、秒はリセットされます。

カウントダウンの停止

同じボタンを 1 回押すと、停止した数値からカウントダウンを続行することができます。

停止中のカウントダウンのリセット

リセット時にカウントダウンが作動中だった場合は、リセットしてすぐに再スタートします。

CTd 機能を終了し、ログブック (LGb) にアクセス (カウントダウン中)。

使用者が誤ってこの機能を終了しないよう、2 つのボタンを押します。

RAC 操作方法

「レース」

この機能は、カウントダウン（ CTd ）が終了すると自動的に表示されます。この機能により、レース時間とブイの通過時間を保存することができます。

i レース モード（ RAC ）への移行時には、自動的にログブック（ LGbb ）が消えます。

T1 による時間の保存とブイのレース時間の保存 (1)

(1) ブイの時間は、つねにログブック A に保存されます（ LGb A01 ～ A10 ）。ログブックが一杯になると、ブイの時間は A10 に保存され、それ以前のすべての番号が繰り上がります。その結果、A01 の数値は失われます。

レース クロノグラフの停止

i 同じボタンを 1 回押すと、停止した数値からレースのクロノグラフを続行することができます。

停止中のレース クロノグラフのリセットと CTd (2) 機能への復帰

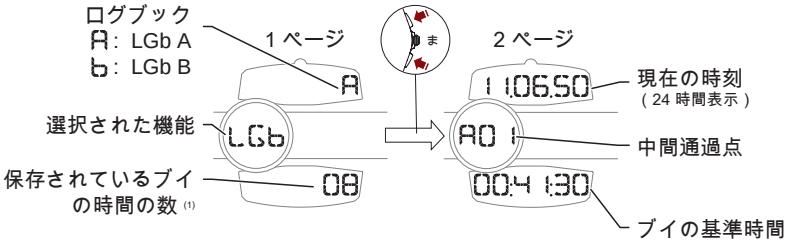
(2) レース機能が作動中だった場合は、CTd 機能に復帰し、最後にプログラミングした数値に応じてすぐにカウントダウンがスタートします。

日本語

LGB 表示

「ログブック」

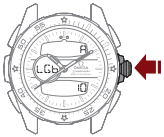
ログブックでは、2 つの記録が利用可能です（ LGbA と LGbb ）。レースモード中に記録される数値は LGbA に保存されます。CTd モードから RAC モードへの移行時に、LGbA が LGbb に移ります。



(1) ログブック（ _ _ _ _ _ _ _ ）が空の場合は、マーク LGb が表示されます。

LGB 操作方法

ブイ情報の確認



LGb 機能の選択

最初のブイの情報を表示
このボタンをもう一度押すと、その次のブイの情報が表示されます。

表示されたブイが最後である場合、もう一度押すと LGb のメイン画面に戻ります。

最後のブイの情報を表示
このボタンをもう一度押すと、その前のブイの情報が表示されます。

表示されたブイが最初である場合、もう一度押すと LGb のメイン画面に戻ります。

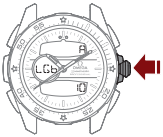
第 2 のログブック LGbb にアクセス
LGbA に戻る場合も同様にします。

LGbb におけるナビゲーション方法は、LGbA と同じです。

日本語

LGB 操作方法

ブイ情報の消去



LGb 機能の選択

ナビゲーション ボタンを用いた、消去すべきブイ情報の表示

消去すべき情報の選択

ブイの表示が点滅します。

消去の確定

時計のすべての表示が点滅したら、さらに 2 秒間、このボタンを押したままにします。

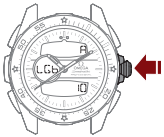
消去モードの終了

ブイの表示の点滅が止まります。

あるブイの情報が消去されると、それ以降の番号のすべてのブイは、番号が 1 つ繰り上がります。

LGB 操作方法

ログブック LGb 情報の消去



LGb 機能の選択

消去すべきログブックを表示

消去すべきログブックを選択

ログブックの表示が点滅します。

消去の確定

「ERASE LGb ALL A/b」という文字が表示されたら、さらに 2 秒間、このボタンを押したままにします。

消去モードの終了

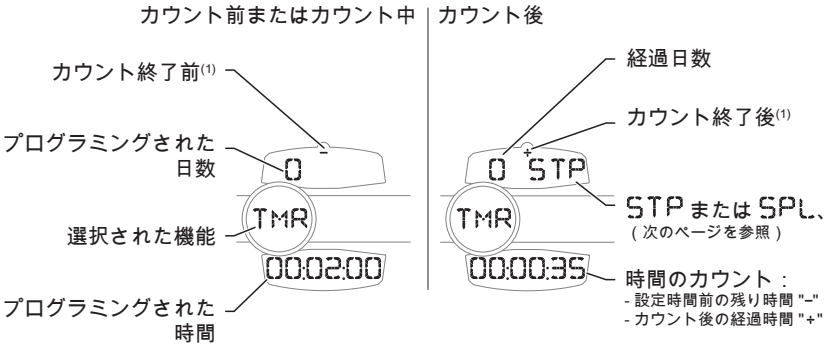
ログブックの表示の点滅が止まります。

i カウントが終了し、レース モードがスタートすると、LGbA の内容が LGbb に移動します。ついで、レースの新しいデータのために、LGbA の内容が消去されます。

日本語

カウントダウン 表示

カウントダウン機能によりあらかじめ設定した長さの時間がカウントでき、ゼロまで進行する経過時間が計測できます。



(1) カウント終了時、"+" のマークが "-" のマークの位置に現れ、カウントダウンのゼロの時点の時間が計測されます。

カウントダウンは、99 日 99 時間 59 分 59.99 秒までプログラミングすることができます。時間はそれと同じ数値まで計測できます。

27ページのソヌリについての記載を参照してください。

カウントダウン

プログラミング

TMR 機能の選択

プログラミングへの
アクセス

増加 +

確定して次の設定へ進む

減少 -

プログラミングの
終了

操作方法

時間のカウント / 計測の
スタート / ストップ (
STP)

SPL : 表示時間のストップ / 再スタート
継続時間のカウント / 計測

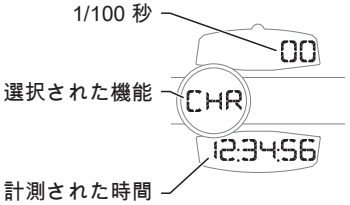
ゼロへのリセット
カウントダウンをストップしたら (
STP)、ゼロへのリセット後、
プログラミングされた最終時間が表
示されます

ソヌリの停止

日本語

クロノグラフ

表示

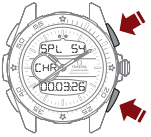


99 時間 59 分 59.99 秒後、クロノグラフは自動的に停止し、ゼロにリセットされます。

操作方法

機能の選択

時間計測のスタート / ストップ (STP)



時間計測のストップ (STP) / 再スタート

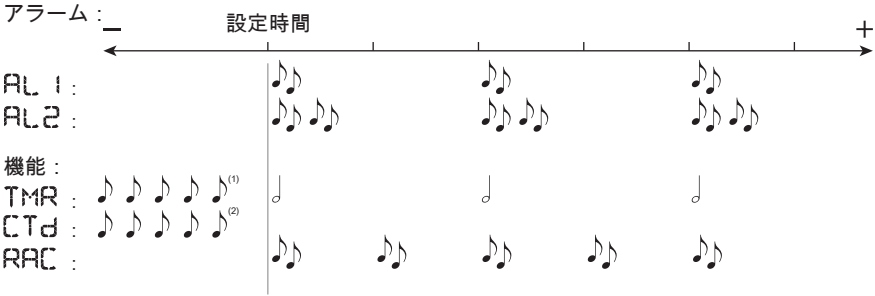
中間時間の表示 (SPL)
もう一度押すと時間計測が継続します

クロノグラフのゼロへのリセット
クロノグラフ停止中 (STP)

ソヌリ

機能と次の優先条件に応じて複数のソヌリが使用されます：

シークエンス



(1) タイマーのソヌリの前に 5 秒間音が鳴ります。

(2) レース開始の 300 秒、240 秒、120 秒、60 秒、45 秒、30 秒、20 秒、15 秒前、および最後の 10 秒間におけるソヌリ。カウントダウンのソヌリは、各分によって異なります。

優先条件

- アラームおよびカウントダウンよりも、レガッタ モードが優先されます。
- カウントダウンよりも、アラームが優先されます。

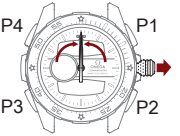
日本語

特殊機能

省電力モード

リューズを引き出すと省電力モードになります。

- 表示が消えます。
- 針が 12 時に移動します。
- 計測機能は持続しますが、ソヌリは作動解除されます。



リューズを押し戻すと省電力モードは終了します。（このモードは、CTd モードと RAC モードでは利用できません）。

同期

時計を省電力モードにすると針の同期を行うことができます。針が正確に 12:00:00 を指していない場合は、次の手順を実施します：

- P4 を押して時針と分針を 30 秒進めます。
- P3 を押して時針と分針を 1 時間進めます。
- P1 を押して秒針を 1 秒進めます。

表示の照明

この機能により表示の読み取りが容易になります。

デジタル表示のバックライトの作動
約 5 秒後、表示は通常の状態に戻ります

デジタル表示が最適に読み取れる位置への針の移動
約 5 秒後、針は通常の位置に戻ります

スリープ モード

5 日間何も操作しないと自動的にスリープ モードになります。

- 表示が消えます。
- 針は表示を続けます T ¦。
- 計測機能は持続します。
- アラームとタイマーは通常通り鳴ります (使用者がソヌリを停止しないと時計は 20 秒後にスリープ モードに戻ります) 。

プッシュボタンのいずれか、もしくはリューズを押すとスリープ モードは終了します。

例 レガッタ レース

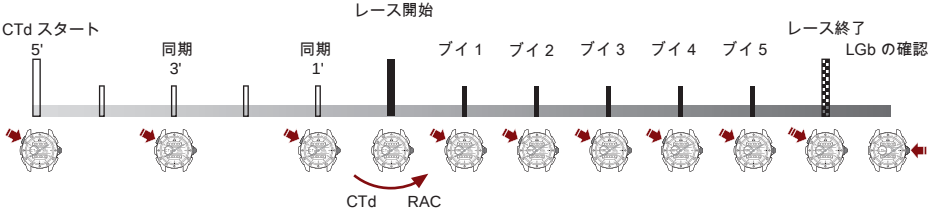
SPEEDMASTER X-33 Regatta は、アメリカズ カップのエミレーツ・ チーム・ ニュージーランド (ETNZ) の選手が各種ステップを管理できるよう、特別に考案された時計です。

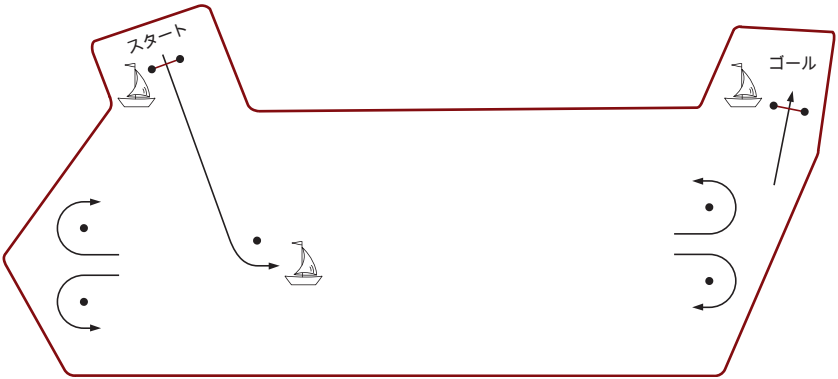
この時計のために考案されたアプリケーションの具体例を次に記します：

- レース開始前のカウントダウン
- 公式カウントダウンとの時刻の同期
- レース開始
- 中間時間の計測
- レース時間の計測
- レース中 / レース後の時間の確認

例 レガッタ レース (続き)

レースは以下のフェーズで構成されます。





略語の説明

UTC	協定世界時。これは国際的な基準時間です。
CTd	「カウントダウン」。レガッタ開始前のカウントダウンです。
RAC	「レース」。レガッタのレース時間です。
LGb	「ログブック」。保存済みのブイの通過時間を確認することができる、レガッタのログブックです。

トラブルシューティング

針が T1 の表示と同じ時刻を指していない：

- 針が同期していません。28 ページの同期の手順を参照してください。

秒針が 5 秒ごとにジャンプして進む：

- 電池が切れかけています (電池交換は正規 OMEGA® 特約店にご依頼ください) 。

絵文字

- 曜日-日付
- WEEE 規制
- ラトラパント (フライバック)
- 2 年間の国際保証
- クォーツ
- 電池切れ表示
- タイムゾーン機能
- セカンドタイムゾーン
- 永久カレンダー
- 温度補正クォーツムーブメント
- 3 気圧 (30 メートル / 100 フィート) 防水
- サファイアガラス
- 両面反射防止処理
- 二酸化マンガンリチウム電池

A list of service centers can be consulted on http://omegawatches.com/csnetwork

www.omegawatches.com

Printed in Switzerland © Omega SA 02/17 – 03090944 M

OMEGA